

寄附者設定テーマ事業 事業報告シート

団体名	特定非営利活動法人スペース
テーマ名	子育てや社会教育の推進
事業名	就学援助世帯学習支援事業 「応援塾」
事業費(うち助成金額)	414,789円(380,000円)
ネーミングライツ(該当があれば)	島根県電気工事工業組合青年部寄附～子育てや社会教育の推進～



■事業目的(250文字程度)

不登校など学校の授業を受けられない子供、様々な理由で学習塾に通えない子供たちへの学力格差が生まれてしまうことを緊急の課題として考えています。また、過去のフリゼミでの子どもたちへのアンケートでは「学習する環境がなくて不安」「進路や将来の事を考えると不安」「相談する人がいない」といった居場所としての機能が必要とされていることがわかりました。

これらの事から、就学援助世帯の学習支援はもちろんのこと、居場所としての役割も求められており、今回の事業を通して、子どもたちの不安、保護者の不安に可能な限り寄り添えるような活動にすることを目的にします。

■事業内容(350字程度) 対象：松江市内の中学3年生(就学援助世帯等)

【1日応援塾の概要】

今回新しく開催する1日応援塾は、島根大学で開催し、フードバンク利用の就学援助世帯を対象として、定員30名。

9月から月に1回の開催とし計6回開催。

日時は日曜日の10時～15時で開催し、学習支援に加えて、学生ボランティアとの交流を兼ねた食事の提供(居場所の役割)。

【通常応援塾の概要】

例年と同様の学習支援内容になっており、1日応援塾の参加者を対象に定員を12名。

日時は日曜日、月2回程度、10時～12時で開催し、計10回開催。

■事業成果と今後の展望(450字程度)

学習支援の取組は今年度で6年目になります。今年度も島根大学、フードバンクしまねとの協働開催となりました。島根大学には学生ボランティア、講義室の提供があり、フードバンクしまねからはお昼の提供をして頂きました。中学3年生の参加人数は延213名、学生ボランティアは延146名の参加がありました。感染症の影響が若干あり、大事をとって休む生徒もありましたが、クラスター等もなく、無事最後まで開催出来ました。特定非営利活動法人フードバンクしまねあったか元気便との共催とすることで、就学援助世帯へ直接案内を送ることができ、本当に支援の必要な家庭のお子さんを支援することができました。島根大学とも共催としており、会場を島根大学とすることで、一回の定員を30名以上とすることができました。また、会場を島根大学とすることで、受験生のモチベーションが上がるという副次的効果もありました。

お昼を大学のカフェテリアで一緒に食べることで、団らんの時間が生まれ居場所型の学習支援を展開することができ、中学生の意欲向上や視野の広がり効果もありました。子どもたちからのアンケートでは、「通いやすかった」「相談しやすかった」等の声もあり学習支援と居場所の提供について一定の成果をあげることが出来たと考えられます。